

お金の歴史

氏名 _____

《物々交換時代》



僕は米を作るのが上手だから、_____。

自分が（ ）モノと（ ）モノを交換



僕は魚を捕るのが上手だから、_____。

困ったことが発生！

- ・自分が（ ）モノと相手が（ ）モノが一致するとは限らない
- ・鮮度の問題が発生 例：米と魚では鮮度を保てる期間が異なる
- ・モノの価値がわからない 例：米は魚とどれぐらい交換すればいいの？

《物品交換時代》



米は貝3つ分と交換するよ！

貝や塩といった（ ）が関係なく、（ ）に便利なモノを介して交換



魚は貝2つ分と交換するよ！

困ったことが発生！

- ・貝や塩を勝手に複製して交換する人が登場！

《金交換時代》



では、複製しづらい金と米を交換しよう！金はレアだしね。

困ったことが発生！

- ・交換するたびに、() を持ち運ぶのが面倒。重いしね。
- ・持ち運んでいる最中に、() を奪おうとする悪い人が登場！

《紙幣（預かり証）発行時代》



では僕が金を預かってあげるよ！ただし手数料は取るけどね。
安心して預けてね。預かり証さえあればいつでも交換可能だよ。



預けた金を必ず交換してくれるなら、もはや () さえ
あればモノの交換ができるね！

ポイント！

- ・紙幣（預かり証）は、必ず金と交換できるという () があるから価値がある！
- ・みんなが紙幣に () があると信じている、これを共同幻想という

授業の振り返り